

CAMERA

Publication number: JP62284338

Publication date: 1987-12-10

Inventor: YOMOGIZAWA SHINYA; IKUI AKIHIRO; AOSHIMA TSUTOMU; IGARI HIDEO; MIYAWAKI MAKOTO; IKEDA TAKUSHI

Applicant: CANON KK

Classification:

- international: G03B17/38; G03B17/38; (IPC1-7): G03B17/38

- european:

Application number: JP19860127309 19860603

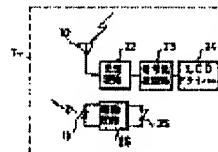
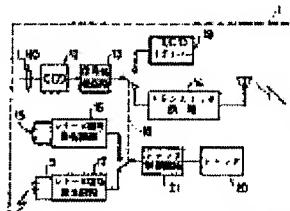
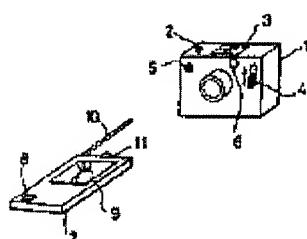
Priority number(s): JP19860127309 19860603

Report a data error here

Abstract of JP62284338

PURPOSE: To prevent such an accident as a release is executed carelessly, by providing a release inhibiting means by the releasing button operation of a camera body side, when a remote control mode is selected.

CONSTITUTION: In case of executing a remote control release, when a remote control mode setting lever 4 is slid upward, a consecutive switch 18 is switched to a state as shown in the figure. In such state, even if the releasing button of a camera body side is depressed carelessly and a switch 15 is turned on, and a releasing signal is generated in a releasing signal generating circuit 16, since the consecutive switch 18 is already switched, the releasing signal is not transmitted to a shutter control circuit 21 and the release is not carelessly executed. At the time of usual photographing, the remote control setting lever 4 is slid downward and the consecutive switch 18 is switched in reverse, therefore, the release is executed by the depressing operation of the releasing button 2.



⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 特許出願公開
⑫ 公開特許公報 (A) 昭62-284338

⑮ Int.Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑯ 公開 昭和62年(1987)12月10日
G 03 B 17/38 B-8007-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 カメラ
⑮ 特願 昭61-127309
⑯ 出願 昭61(1986)6月3日
⑰ 発明者 蓬澤 信哉 川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社玉川事業所内
⑰ 発明者 生井 明宏 川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社玉川事業所内
⑰ 発明者 青島 力 川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社玉川事業所内
⑰ 発明者 猪狩 英夫 川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社玉川事業所内
⑯ 出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
⑰ 代理人 弁理士 中村 稔
最終頁に続く

明細書

1. 発明の名称 カメラ

2. 特許請求の範囲

ノ、リモートコントロールレリーズとカメラ本体側のレリーズ鉤操作によるレリーズとを行うことのできるカメラにおいて、リモートコントロールモードが選択された場合には、前記カメラ本体側のレリーズ鉤操作によるレリーズを禁止する禁止手段を備えたことを特徴とするカメラ。

3. 発明の詳細な説明

(発明の利用分野)

本発明は、リモートコントロールレリーズを行うことのできるカメラの改良に関するものである。

(発明の背景)

従来より、例えばファッションショーにて撮影を行う場合や、動物の生態を観察するためにある時間間断的に撮影を行う場合等のように撮影者が被写体に近くことができないような状態であっても、リモートコントロール（以後リモコンと記

す）装置との組み合わせによりこれら撮影を可能とするカメラは知られている。

ところでこの種のカメラにおいては、リモコンモードに設定されていても、カメラ本体側のレリーズ鉤が押された場合、レリーズが受け付けられるような構成となっていた。このため、リモコン撮影時に他の者（先の例では、見物客や他の動物）がレリーズ鉤に触れたような場合であっても、レリーズされてしまい、撮影者の意図しない写真が撮れてしまう事故が起る可能性を有していた。

(発明の目的)

本発明の目的は、上述した問題を解決し、不用意にレリーズが行われてしまう事故を防止することができるカメラを提供することである。

(発明の特徴)

上記目的を達成するために、本発明は、リモコンモードが選択された場合には、カメラ本体側のレリーズ鉤操作によるレリーズを禁止する禁止手段を備え、以て、リモコンモードが選択された場

合は、リモコンによるレリーズのみを受け付けるようにしたことを特徴とする。

(発明の実施例)

以下、本発明を図示の実施例に基づいて詳細に説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す図である。1はカメラ、2はカメラ本体側のレリーズ鉗、3はファインダー画像を表示するLCD表示部、4はリモコンモード設定レバー、5は赤外光を受光する受光素子、6は後述するCCD上にファインダー像を結像させる対物レンズWNDを内部に有するファインダ窓、7は発信装置、8は発信装置側のレリーズ鉗、9はカメラ本体側から送られてくるファインダー画像を表示するLCD表示部、10は受信用アンテナ、11は前記レリーズ鉗8が操作されることにより赤外光をリモコン信号として発する発光素子である。

第2図は本発明を実施するための一例を示すブロック図である。カメラ1内には、対物レンズWNDにより結像されるファインダー像を像信号と

に連動して連スイッチ18が第2図に示す様な状態に切り換わる。これにより、信号処理回路13より出力される画像信号はトランスマッタ回路14及び送信用アンテナを介して発信装置7側へ送信されるようになる。

前記カメラ1側から送信される信号は受信用アンテナ10を介して受信回路22により受信され、信号処理回路23によって再び画像信号に変換され、LCDドライバー24を介してファインダー画像がLCD表示部9にて表示される。撮影者はこのようしてLCD表示部9に表示されるファインダー画像を見ながら構図を決定することになる。構図が決定し、前述の様な状態になっているカメラ1の受光素子5側に発信装置7の発光素子11を向けてレリーズ鉗8が押されると、スイッチ25がオンしてドライバー回路26が動作し、発光素子11より赤外光が投射され、その光が受光素子5によって受光される。するとレリーズ信号発生回路17にレリーズ信号が発生し、シャッタ制御回路21が動作して一連の撮影動作

して時系列に出力するCCD12、該CCD12よりの信号を画像信号に変換する信号処理回路13、該信号処理回路13よりの信号を発信装置7へ電送するトランスマッタ回路14、前記レリーズ鉗2が押圧されることでオンするレリーズスイッチ15、レリーズ信号発生回路16、17、前記リモコンモード設定レバー4の上下位置に応じて切り換わる連スイッチ18、LCDドライバー19及びシャッタ20を制御するシャッタ制御回路21が備えられている。

発信装置7内には、受信用アンテナ10を介して入力する信号を受信する受信回路22、該受信回路22よりの信号を画像信号に変換する信号処理回路23、LCDドライバー24、前記レリーズ鉗8の押圧操作が行われることでオンするスイッチ25及び発光素子11の駆動回路26が備えられている。

次に動作について説明する。まずリモコンレリーズを行う場合について述べる。リモコンモード設定レバー4が上方にスライドされると、それ

が開始される。

この様な状態時に、仮りにカメラ本体側のレリーズ鉗2が不容易に押されたことでスイッチ15がオンし、レリーズ信号発生回路16にレリーズ信号が発生したとしても、前述のように連スイッチ18が第2図に示す様な状態に切り換わっているため、シャッタ制御回路21へは前記レリーズ信号は伝わることはなく、撮影者が意図しない撮影が行われてしまうといったこと不都合はない。

通常の撮影時には、前記リモコンモード設定レバー4が下方にスライド(第1図の状態)されることで連スイッチ18が第2図の状態とは逆に切り換わるため、レリーズ鉗2の押圧操作によりレリーズを行うことが可能となる。またこの場合、信号処理回路13より出力される画像信号はLCDドライバー19へ入力するため、カメラ1側のLCD表示部3にファインダー画像は表示され、撮影者は該LCD表示部3に表示されるファインダー画像を見ながら構図を決定することになる。

(発明と実施例の対応)

本実施例において、連スイッチ18が本発明の禁止手段に相当する。

(変形例)

本実施例では、リモコンモード設定レバー4をリモコンモードに切り換えることでカメラ本体側のレリーズ釦2によるレリーズを禁止するようにしたが、別にレリーズ禁止用スイッチを設け、このスイッチがオンしている時はリモコンによるレリーズのみしか行えず、オフの時にはリモコンによるレリーズもカメラ側でのレリーズも行えるような構成にすることも容易である。

また、カメラ1内に受信手段(受光素子5、レリーズ信号発生回路17)が配置されている場合について述べたが、アクセサリシューに前記受信手段を装着するようなタイプのカメラであっても同様である。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、リモコンモードが選択された場合には、カメラ本体側の

レリーズ釦操作によるレリーズを禁止する禁止手段を備え、以て、リモコンモードが選択された場合は、リモコンによるレリーズのみを受け付けるようにしたから、不用意にレリーズが行われてしまふ事故を防止することが可能となる。

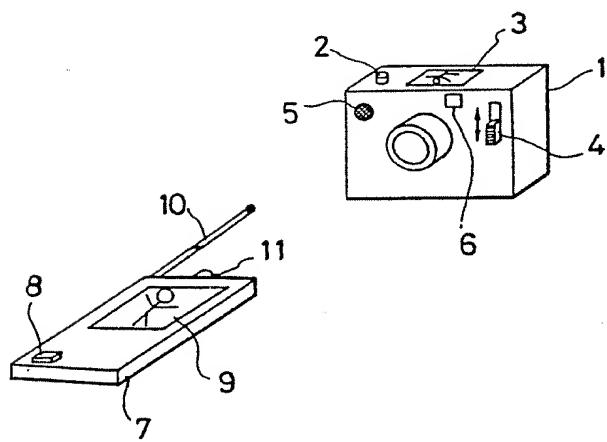
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す斜視図、第2図は同じくブロック図である。

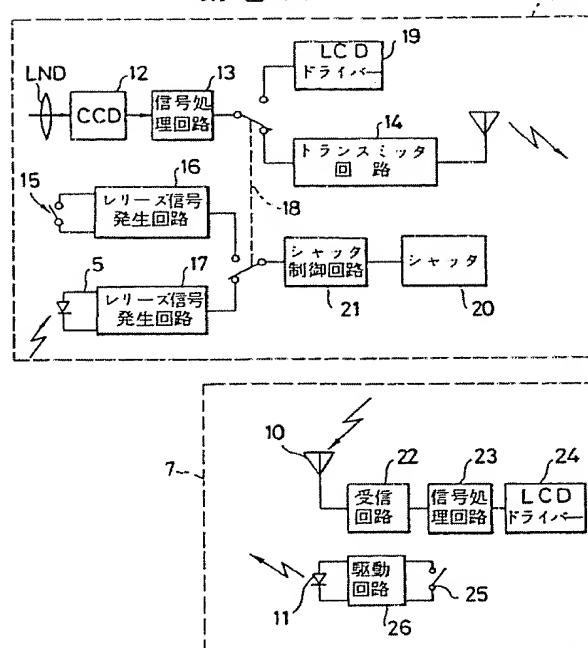
2……レリーズ釦、4……リモコンモード設定レバー、5……受光素子、16、17……レリーズ信号発生回路、18……連スイッチ。

特許出願人 キヤノン株式会社
代理人 中村 稔

第1図



第2図



第1頁の続き

⑦発明者 宮脇 誠 川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社玉川事業所内
⑧発明者 池田 卓志 川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社玉川事業所内